

ほげげの体験ルポ

泉の森観察会
「冬芽を調べよう」編

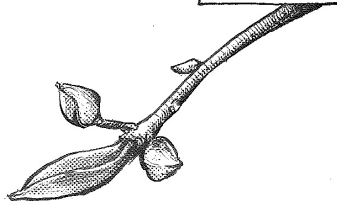
雪が降った翌日
冬まつりだ中の
泉の森林

今回は、ボランティア
泉の森林ガイド部会が
企画・実施している
泉の森林観察会
「冬芽を調べよう」に
参加してきました！



冬芽と「ロ」がつく木は、この本に様々な形がありました

ゴズイの芽



クロモジの芽

「クロモジ」といえば高級な楊枝として使われるんですよ

ムクロジの葉痕



葉痕(あざこ)とは、葉が落ちたアトのこと
目ヤロに見える部分のことは維管束痕(いかんそくこん)という

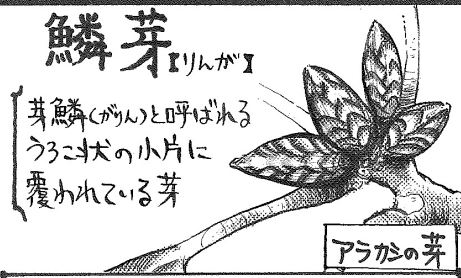
わはは、ほんたーだ！



「冬芽」と聞いてみなさんは何を想像しますか？

おぼけの「冬芽」講座

「冬芽」とは...
休眠・越冬をして春に伸びて葉や花になる芽

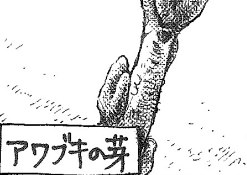


アラガキの芽

鱗芽(りんが)とは、葉鱗(がらん)と呼ばれるうろこ状の薄片に覆われている芽

裸芽(らげ)

- ・花芽 (くはなめ、かが) 花となる芽
- ・葉芽 (よすが) 茎・葉となる芽
- ・混芽 (こんが) 花芽と葉芽を両方持つ芽



アrawakiの芽

鱗芽に覆われていない芽



おーこれは「ハリギリ」としてトゲがあって、葉は天狗のつちわみみたいな形だよ
ちなみに芽でここから出すところだよー



*泉の森では植物の採集は禁止です

豆知識を交えながらボランティアさんが丁寧に解説してくれました

勉強「と」コンナウ「あ」ニ「ア」イ「ン」感「じ」て「た」



冬の木って葉も花もなくて寂しいって思ってたけど、決してそんなことはないんだなあ

厳しい冬に耐える冬芽の美しく逞しい様を見た



女は春、この日見た木々にまた会いに来ようと思っておいた



ボランティアさんで先頭に早速冬芽を見て回りました

